

産業振興分野への質問

| | 意見 | 区の考え方 |
|---|--|---|
| 1 | 商店は商品やサービスを提供するだけでなく、見守りや地域のコミュニティの核としての役割を担う。こうしたコミュニティ形成に重要な役割を持つことから、商店街がしっかりと生き残る必要がある。 | 今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。 |
| 2 | 法人化していない商店街なども存在するため、区として組織作りを支援することも重要である。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 3 | SNS等を活用した情報発信の取組が必要だろう。区としては、せっかく特徴のある商店が多くあるため、そうしたことを周知する、あるいは商いに関する勉強会等を開催していただくとうい。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 4 | 安全・安心な商店街であることがよいところでもあるため、まちづくりと一体化させた総合的な取組が必要である。 | 今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。 |
| 5 | 建物の老朽化に伴い建替えを実施する場合、許可が下りないケースが増えている。やむを得ず工場を解体して住宅を建てる、工場は地方に移転し、本社のみ区内に所在し続けるというケースが非常に多い傾向にある。 区内の工場経営者を保護するという立場から、工場許可について申請があった場合には許可していただくことも検討いただきたい。 | 目黒区の用途地域等は、市街地の良好な環境を確保するために東京都が決定し、建築基準法で建築できる用途を制限しています。用途制限で建築できない建築物を許可で認める場合がありますが、その建築物が存在しても市街地の良好な環境に影響しないことが前提となります。一般的に建替えは非常に困難ですが、改修等様々な手法で建築物を維持保全していくことも可能ですので、まずはご相談いただければと思います。 |
| 6 | 労働者の待遇や賃金の体系等、国や東京都に任せっきりでなく、区としてチェックする必要があるものと思われる。例えば、公共工事の設計労務単価が上昇しているが、労働者に還元されているのか確認が必要である。 | 公契約条例を制定し、公契約に係る業務に従事する労働者等の適正な労働条件の確保に取り組んでいます。また、公共工事の設計労務単価については、国の依頼により対象工事に改定後の新単価を適用する特例措置を実施し、その契約金額上昇分の差額の用途について調査を実施しています。 |
| 7 | 専門家が派遣されるか否かにかかわらず、行政からの直接的な支援が求められているものと認識している。専門家を派遣するかどうかではなく、全産業をカバーできる支援策の検討が必要である。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 8 | 区内企業に対して場の提供が必要だろう。世田谷区ではものづくり学校が開校されており、研究成果などを披露する場が設けられている。こうした場づくりが区にも必要であるものと思われる。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 9 | 商店街が地域コミュニティの核であり、商店街を支援することは重要だが、成功している商店のある一方で、食料品等の店舗が減少している傾向も見受けられる。こうした生活密着型店舗の減少は商店街の未来にも直結するため、買い物客に喜んでもらえるような魅力や個性をアピールする必要があるだろう。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |

| | 意見 | 区の考え方 |
|----|---|---|
| 10 | 課題解決の方向性の5年後に記載されている「幅広い世代の商店街加入」とはどのようなことか。世代別に商店街の加入率が違うのか教えていただきたい。 | 商店街の方々の声をお聞きすると、高齢化が進んでいることから、若い方にも参画していただき、世代交代を進める必要があるとの趣旨で記載したものです。なお、世代別の情報は持っていません。 |
| 11 | 「新しい価値・新しい魅力を創出しようとする事業者」とは具体的にどのような事業者であるか。 | 国においてもスムーズな事業継承とならび既存の商店ばかりでなく、創業を促進していこうという動きがあります。新たに創業にチャレンジをした方をみると、今までにない視点で応募されている方が多く、そうしたことから、新たに創業される事業に対して支援するという一方で、区の産業振興ビジョンに打ち出しているところです。 |
| 12 | 10年後の施策の方向性に「商店街関係者が自ら考え行動して魅力にあふれる商店街づくりを行うことを推進していく。」とあるが、これまでも自ら考え行動してきた結果が現状ではないか。だとすれば、10年後のビジョンとしてあえて取り上げる必要があるのか疑問である。それよりも10年後のビジョンには、区として産業振興の具体的方針をはっきり示すべきではないか。 | 区としての産業振興の具体的方針については、本年3月に改定した産業振興ビジョンにも5つの方針をお示ししております。ビジョンにおいては、区内産業の10年後の目指すべき姿を示し、その実現に向けて、3つの視点と5つの方針を掲げております。具体的には、経営を安定的に継続するとともに、一層の成長を実現できる支援を充実するほか、これからの産業の担い手となる企業家のスタートアップを後押ししていきます。中小企業振興基本条例の理念を踏まえ、ビジョンを基に中小企業の振興を進めていきます。 |
| 13 | 人口減少・労働人口減少社会とともに、人生100年時代を見据え、国や都の動きと同様に、高齢者の就労支援・創業支援体制の整備・充実が必要ではないか。 | 今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。 |
| 14 | 区内から工場がなくなっているという状況を見ると、区に新たに中小企業を呼び込める仕組みづくりが必要ではないか。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 15 | 商店街の復興も大事な視点だが、区内の個々の商店が時代ととらえて行う取組、例えばウバーイーツ(マッチングアプリによる新時代のフードデリバリーサービス)のようなネットを使った先進的なビジネスへのサポートなどこそ必要なのではないか。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |
| 16 | 目黒川沿いにはアパレル系デザイン会社が多く存在する。目黒の駅前には杉野学園もある。裏原ではなくスタイリッシュなアパレル系デザインが目黒川で創造されていることを対外的にアピールすることで目黒の新たなイメージができる可能性があるのではないか。 | 今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 |